

発刊のことば



摂津市国際交流協会会長

阪井 靖史

摂津市国際交流協会は創立 30 周年という記念すべき日を迎えることができました。摂津市はじめ協会スタッフ、会員の皆様、日々の活動に積極的にご参加いただいているボランティアの皆様、活動に参加いただきご指導いただいております外国人の方々およびご支援いただいている多くの関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

設立経緯は、中国の蚌埠市友好推進協議会を発展させて、1993 年(平成 5 年)6 月 1 日摂津市国際交流協会が誕生いたしました。その後、摂津市とオーストラリアのバンダバーグとの友好都市の締結がありました。協会は友好都市の窓口として、人と人との触れ合いを大切にしながら、市民ぐるみの交流に尽くして参りたいと考えております。

30 歳といえは、ようやく仕事も一人前、そろそろ家庭をもって身を固めるといいうわば働き盛りの年齢です。また 40 歳の方は 70 歳になり、第 2 の人生を始める年齢になります。このように考えると、30 年というのは長い努力の積み重ねの結果であり、そしてまた新たな出発点になるように思われます。

先輩諸氏や皆様のご支援で築いていただいた活動を継承し、発展させることに力を尽くしておりますが、我々の主な活動を見ますと、外国人に日本語を指導する日本語教室が最初は 3 か所でしたが、2 か所増え 5 か所となっています。摂津市在住外国人も今後増加が期待できますので、日本語習得のニーズに応え、日本語教室の充実に努力していき

いと考えております。また主な活動の一つとなっている「国際理解講座」は外国の方や海外経験の豊富な方にお話を聞き、マスコミの情報では得られない海外の生の状況を知り、異文化を理解し、市民と海外をつなぐための講座ですが、当初は年 1~2 回でしたが、現在は 5~6 回の開催となっております。参加するたびその国に対する新しい発見があります。活動内容も向上し、多くの方に興味を持って参加いただいているのではないかと思います。

記念式典のほか記念事業として、スポーツ交流団体の「せつつブルーウィングス」とのコラボ事業で「外国人健康増進事業」や JOCA 大阪との共催事業で子供も含めた市民や外国人との交流会「ごちゃまぜ祭」また「外国人労働者が住みやすいまちづくり」と題したパネルディスカッションを開催いたしました。いずれもご参加いただいた方にお礼を申し上げます。最後になりますが、京セラ創立者の稲盛さんの言葉に「企業の寿命は 30 年、今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる」とありますが、我々摂津市国際交流協会も 30 周年をスタートとし、みなさまにご支持いただけるよう一層努力して参りたいと思いますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

創立 30 周年記念誌発刊にあたり、ご尽力いただきました皆様に感謝し、深くお礼を申し上げ発刊の言葉とさせていただきます。

祝辞



摂津市長

森山 一正

摂津市国際交流協会の創立30周年を、心からお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、1993年6月の設立以来、「多文化・多様性の理解」「人と組織のネットワーク構築」「参画して自己向上・実現への挑戦」を理念に掲げ、本市の国際化に日々ご尽力されてまいりました。また、中国・安徽省蚌埠（バンブー）市、そしてオーストラリア・クイーンズランド州バンダバーグとの友好都市連携でも、本市と友好都市の架け橋役を担われてまいりました。改めて長年にわたるご功労に、心より感謝を申し上げます。

とりわけ本市は産業都市であり、また近隣に総合大学や研究施設も多いため、就労や留学目的で居住される外国籍の方が大勢おられます。このように日ごろから外国籍の方々と顔を合わせる機会が多い地域性に着目して、貴協会は語学教室や異文化交流会など、日々の暮らしに役立つ国際事業を熱心に展開されてこられました。これらは行政を預かる私にとって大変頼り甲斐があり、また、非常に心強く感じる事業ばかりでございます。

また、この3年間はコロナ禍で講座や行事等の縮小・中止を余儀なくされ、多くのご苦勞があったことと存じます。同様に、我々行政にとっても人的交流が滞り、改めて「つながり」や「絆」の大切さが身に染みた期間でございました。

ようやくコロナ禍の様々な制約から解放され、徐々に日常生活のあらゆる場面が元に戻りつつあります。そのような中、私の大きな使命は、この回帰の流れを一層強く加速させることでございます。この使命に向けて、貴協会には30年間で蓄積したノウハウを遺憾なく発揮いただき、国籍を超えて絆を深めるだけではなく、さらに一步踏み込んで、心の通う地域づくりや仲間づくりにおいても、是非ともお力添えを賜りたいと願っています。

結びに、30周年を新たなステップとして、更に貴協会が大きくご発展されることを祈念いたしますとともに、阪井会長はじめ会員の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの挨拶といたします。

祝辞



摂津市議会議長

水谷 毅

摂津市国際交流協会が、創立 30 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、地域に根ざした市民ぐるみの国際交流を目指し、市民、各種団体、行政との連携を図りながら、国際理解の推進と外国人住民へのサポートにご尽力いただいておりますことに、心から感謝と敬意を表します。

さて、令和 5 年 7 月に総務省から発表された住民基本台帳に基づく外国人の人口は、299 万人で過去最高となりました。外国人の人口は今後も増加することが見込まれる中、各地域で国籍などの異なる人々がともに安心して暮らすためには、それぞれの文化や価値観の違いを理解し、地域で協力し合う多文化共生のまちづくりが重要となってまいります。

貴協会におかれましては、これまで市民参加による交流サロンや子どもから大人まで各世代を対象とした各種講座を開催され、多文化と触れ合う機会の確保に努めてされました。また、外国人住民へのサポート活動といたしましては、日本語支援ボラン

ティア養成講座を通して日本語教室の充実を図られるとともに、LINE アプリを活用した暮らしに役立つ情報の発信に取り組んでられました。

これらの活動は、市民の国際理解の推進と外国人住民の暮らしに大きく寄与するもので、貴協会の役割はますます重要になると感じております。今後におかれましても、活動理念であります「草の根的な人と人とのお付き合い」を通して、多文化共生のまちづくりにお力添えをいただきますようお願いいたします。

本市議会といたしましても、市民の皆様が文化や価値観の違いを相互に認め合い、地域で協力しながら安心して暮らすことができるよう、議員一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立 30 周年を契機に貴協会のますますのご発展と会員皆様のご健勝ご多幸を祈念し、祝辞といたします。

祝辞



大阪府議会議員

中川 嘉彦

摂津市国際交流協会の皆様へ、心よりおめでとうございます。協会の創立30周年を祝し、この素晴らしい節目に感謝と共にお祝い申し上げます。三十年間、協会は地域社会において国際的な架け橋となり、多くの人々の心を結びつけてきました。

協会が築き上げてきた国際交流の歴史は、多様性と包括性の重要性を訴えています。私たちは異なる文化やバックグラウンドを尊重し、共に学び合い、成長し合う場として、協会の存在が欠かせないものとなっています。

創立者の想いを受け継ぎ、協会は地域社会においてさまざまな国際交流プログラムを展開し、人々の理解を深めてきました。会員の皆様と関係者のご尽力により、協会は地域社会における国際交流の拠点としての地位を確立し、導いていくと確信しております。

この30周年を機に、私たちはこれまでの歩みに感謝し、同時に未来への期待を新たにしています。協会はこれからも、地域社会との連携を強化し、より多くの人々に国際交流の素晴らしさを伝えていくことでしょう。

協会関係者の皆様、会員の皆様、そして関係団体の方々へ心からの感謝をお伝えします。皆様の温かいご支援とご協力により、協会はこれからも成長し続け、摂津市を国際的なコミュニティへと導いていくことでしょう。

創立30周年を迎える協会にとって、これからの更なる飛躍と発展が期待されます。これからも一層のご発展をお祈りしております。誠におめでとうございます。

歴代会長のことば



前摂津市国際交流協会 会長

西島 英信

この度は、摂津市国際交流協会創立 30 周年、誠におめでとうございます。これも、会員の皆様を始め、ボランティアや行政の方々、そして事務局の皆様のご尽力あってのことと存じます。

貴協会では、先人の方々が姉妹都市として締結された中国・安徽省蚌埠市および友好都市オーストラリア・バンダバーグとの交流や、摂津市在住の外国人へのサポート事業、外国人と市民との交流会の企画など、ボランティア精神に基づき様々な活動を力強く推進されてこられました。

例えば、「日本語教室」では、摂津市在住の外国人の方々への日本語指導が行われています。そこではボランティアの方々に地道な活動を続けていただいております。また、「国際理解講座」では、さまざまな国の方を迎え、各国の文化などを紹介する多くのイベントを実施し、会員の方々と外国人との交流の機会を設けていただいております。そして、これら活動を広く知っていただくための「SAIE かわら版」の発行では、編集に工夫を凝らし、多くの情報を発信していただいております。

このような活動は摂津市の国際化、また多文化共生社会への確実な歩みになっていると感じております。

貴協会 30 年の変遷の中で、私も 9 年間、会長を務めさせていただきました。その間に、摂津市から友好都市に派遣された学生達の生き生きとした感想を聞いたり、友好都市から来た高校生を迎え入れ、ホームステイをしてくださったボランティア家庭の方々の話を聞いたりする機会を得ました。それらお話しを伺うことは大変楽しく、有意義な活動を実施していると実感しておりました。

また、会員の方々とバンブー市やバンダバーグを訪問したり、先方の関係者が摂津市を訪問され、迎え入れたり、交流を深めた思い出が蘇ってまいります。

今、世界各地で紛争が起こり、国際情勢に不安を感じざるを得ず、一刻も早い平和が訪れることを願ってやみません。我々を取り巻く世界の状況は不安定ではありますが、貴協会が掲げておられる「相互理解」を深め、「つながり・きずな」を大切にすることが身近な平和を築き、ひいては世界の平和へとつながります。

貴協会がこの精神を持って、ますます発展されますことを心より祈念するとともに、関係者各位皆様のご活躍、およびご多幸を心よりお祈りしております。

歴代会長のことば



摂津市国際交流協会 名誉会長（元会長）

森川 薫

創立 30 周年を阪井会長・歴代の会長様はじめ役員の皆様そして会員の皆様のご努力で迎えられた事心からお祝いを申し上げますと同時に感無量です。

20 周年記念誌でもご紹介いたしましたが、この 10 年間にご入会された方々と備忘録として発足当時のルールをご紹介いたします。

摂津市国際交流協会が発足する前に、1984 年 5 月 5 日に摂津市と中華人民共和国安徽省蚌埠市との友好都市締結後、摂津市・蚌埠市友好都市推進協議会を設立され、素晴らしい活動して来られましたが英語圏都市との都市締結の機運が高まり、摂津市商工会を中心にニュージーランド・ベトナム・オーストラリア等を訪問して来ましたが、偶然にも摂津市在住の市民（男性）とオーストラリアのクィーンズランド州バンダバーグ出身の市民（女性）が国際結婚され女性が市長と懇意にされておられ、その方のご紹介で 1998 年 11 月 9 日に摂津市と友好都市締結が目出度く誕生いたしました。

蚌埠市とバンダバーグの両市と平等に交流が出来るようにとの思いから、従来の推進協を発展的解消し国際交流協会として設立されました。

以後、摂津市自治振興課が窓口になり摂津市・蚌埠市との交流は行政側が調整し、バンダバーグとの交流は協会が主体となって民間交流を目指し、市民交流を活発に行って戴いて参りました。

特筆すべきは協会 30 周年に併せて、JOCA 大阪 5 周年と 30 年間に亘り SAIE かわら版の発行をコロナ禍の大変な中でも続けて戴き見学会・各教室等の実行を戴き心から敬意を表します。

中華人民共和国安徽省蚌埠市との交流は今厳しい状況が続いていますが、是非とも過去の素晴らしい民間交流が再現される事を熱望いたします。

幸いにも摂津市内には多くの優秀な企業が存在し海外に工場等進出されておられ、姉妹都市提携ではなく 2025 年には夢洲で大阪・関西万博が開催されますので、この機会に市内企業を通じて大阪・関西万博にお誘いを戴き市民交流の機会を模索戴ければ幸甚です。

結びに摂津市国際交流協会のご発展と会員皆様の御健勝・御多幸をご祈念申し上げます。

基本事業体系

摂津市国際交流協会は、国籍を越え、出会った人々が仲良く生活し、交流を深めることができるよう一緒に考え、行動する国際交流を目指すため、以下の基本事業体系をもとに協会事業を継続的に推進します。

みなで築く「摂津」草の根交流

普段着のお付き合い：多文化と多様性の理解
People to people program across the world

啓発・成長

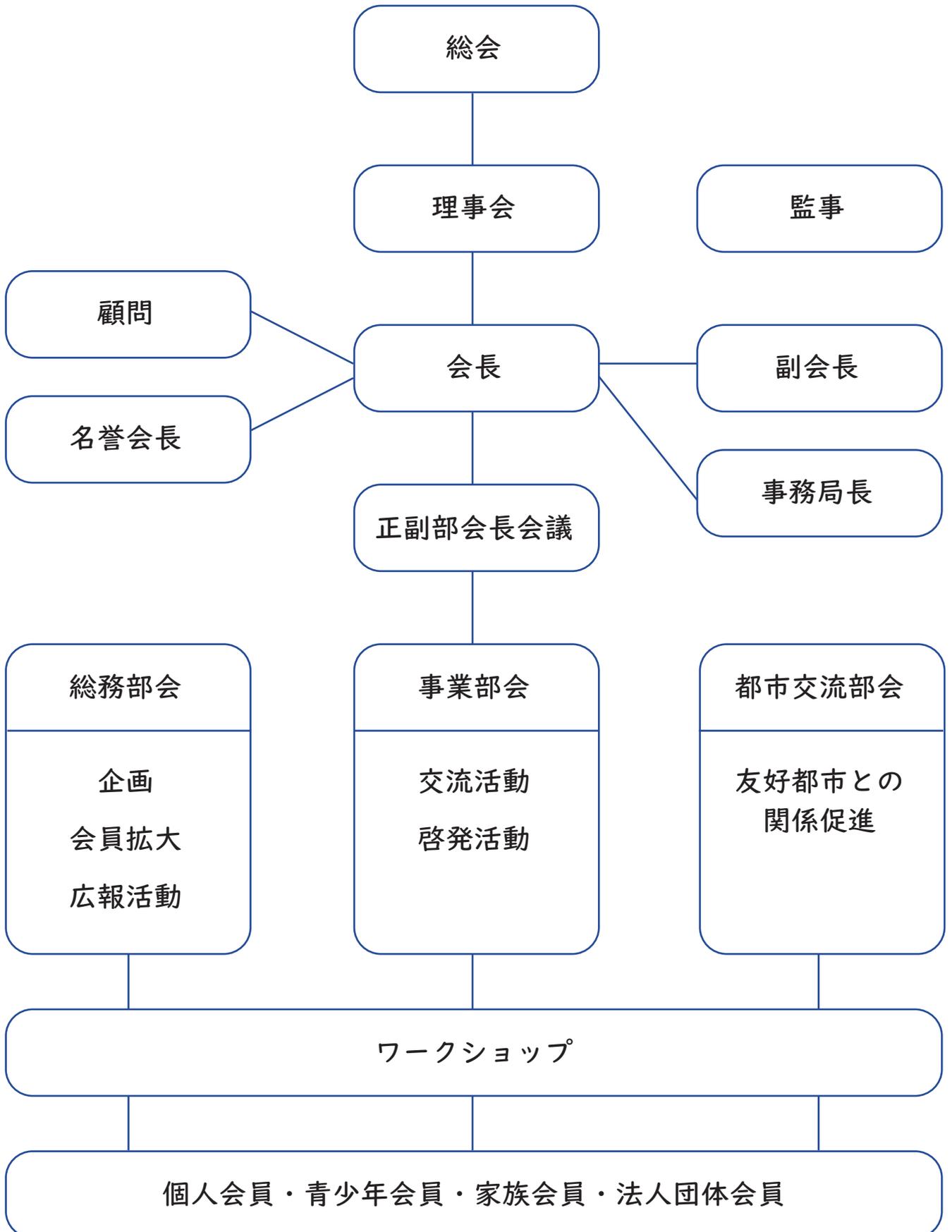
「希望に満ちた豊かで活気のある多様な環境」
・人と組織のネットワーク構築
・活動し力を発揮する場づくり

やりたいこと、可能なことに

参画して自己向上・実現への挑戦

役割と喜びの分かち合い

運営組織図



活動内容

摂津市国際交流協会は「摂津市」と友好都市提携を結んでいる「中華人民共和国・安徽省蚌埠市」と「オーストラリア・クイーンズランド州バンダバーグ」との窓口となり、友好交流を行なっています。

- 中華人民共和国・安徽省蚌埠市：1984年（昭和59年）5月5日 友好都市締結
- オーストラリア・クイーンズランド州バンダバーグ：1998年（平成10年）11月9日 友好都市締結

【協会の目的】

外国人の住みやすい街づくりや、地域に根ざした市民ぐるみの国際交流を目的とし、「草の根的な人と人のお付き合い（交流）」を日常生活の中で拡大していく。

【協会の主な事業】

友好都市交流事業

- バンダバーグと相互の短期留学 & ホームステイによる青少年交流および、民間・行政間交流
- バンダバーグとの文化交流（書画の交換展示など）
- 蚌埠市との青少年交流および、民間・行政間交流

地域交流事業

- 国際理解講座、文化紹介サロンなど
- ワールドクッキング（外国人によるクッキング：大人を対象）

語学講座・社会見学会

- 英語講座：大人を対象（安威川公民館：月曜日・午前）
- 中国語講座：大人を対象（安威川公民館：隔週土曜日・午後）
- 親子 DE 英語：2～3歳児の親子を対象（コミュニティプラザ：隔週木曜日・午前）
- 子ども英語講座：4歳～小学6年生を対象（コミュニティプラザ：隔週金曜日・午後、夜間）
- 社会見学会：各種施設・イベントなどの見学バスツアー

派遣・紹介

- 市、学校、各種団体の国際化及び、国内・外国国際交流事業への支援・協力
- ホームステイ受入れ（ホストファミリーの紹介等）

外国人サポート事業「市内及び近隣市に在住又は滞在の外国人への支援活動」

- 日本語教室：外国人の方にボランティア講師が日本語指導を行なっています
 - ・ せっつ日本語 SAIE（コミュニティプラザ） 毎週火曜日 10時～11時30分
 - ・ 日本語サロン（コミュニティプラザ） 毎週木曜日 10時～11時30分
 - ・ 日本語教室さくらクラブ（摂津市鳥飼下3-38-3） 毎週金曜日 19時～20時30分
毎週日曜日 15時30分～17時
 - ・ 日本語学習会（南別府第5集会所） 毎週土曜日 19時～21時
 - ・ せっつ日本語あじふ（味生公民館） 毎週土曜日 18時～19時30分
- 日本文化体験会（生け花、着物の着付けとお茶体験など）
- 日本食講習会（お弁当作りなど）
- 外国人のための救命救急講座など日本での生活に必要なと思われる事柄についての講座を適時開催
- 日本語学習支援者養成講座：外国人への日本語支援を目指す人材育成を目的とした講座の開催

協会では、事業の立案・企画、外国人支援・通訳・翻訳等種々のボランティア協力会員を募っています。また、ボランティア精神で協会事業運営に協力いただける「協会会員」の募集を行なっています。

協会会員には「青少年会員（年会費：1000円）、個人会員（3000円）、家族会員（5000円）、法人・団体会員（10000円）」があり、年4回の会報「SAIEかわら版」と、年度末には年間活動報告「SAIE REPORT」をお届けし、各種講座やイベントへの優先受付、参加費の割引優遇をします。

協会の全ての事業運営は、会員皆様からの会費および、ボランティア活動により成り立っています。